

2015年5月11日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

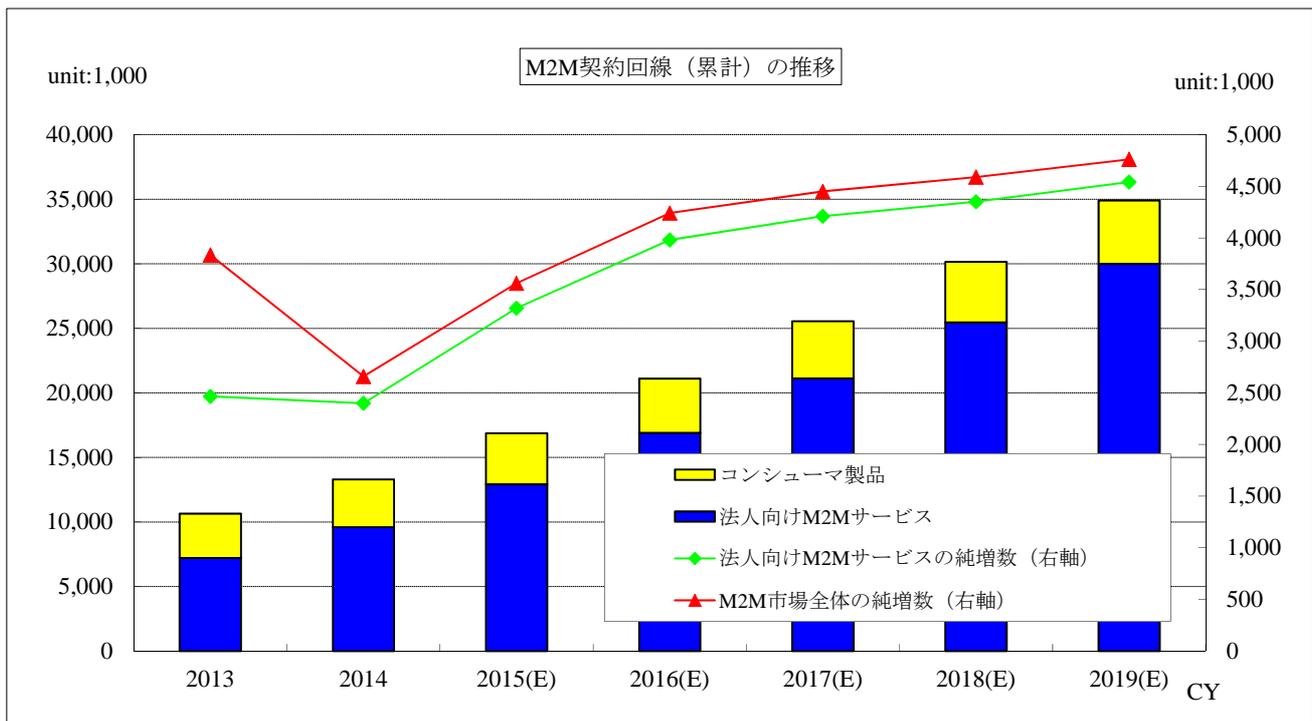
法人向け国内モバイル M2M 市場は 2019 年に 3,000 万回線に達する見通し

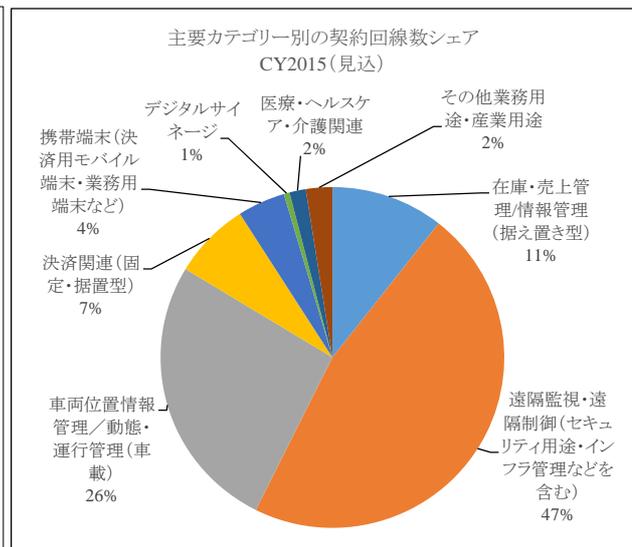
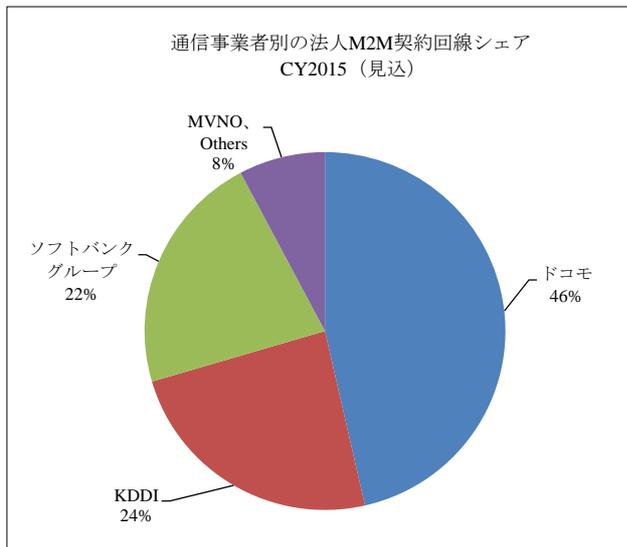
～ コンシューマ用途と合わせると 3,500 万回線 (2019 年) に到達する勢いを見せる ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS、WiMAX などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場に関する調査報告書『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2014 年版)』の「第 1 部 市場動向編」を 4 月初旬に発刊しました。

2014 年末時点で、M2M サービスで利用されているモバイル回線の契約数は、法人向けで 900 万件を大きく上回った。今後、2017 年中には 2,000 万件台に達し、2019 年中に 3,000 万回線に達してモバイル回線全体の 13%以上を占める見通しである。

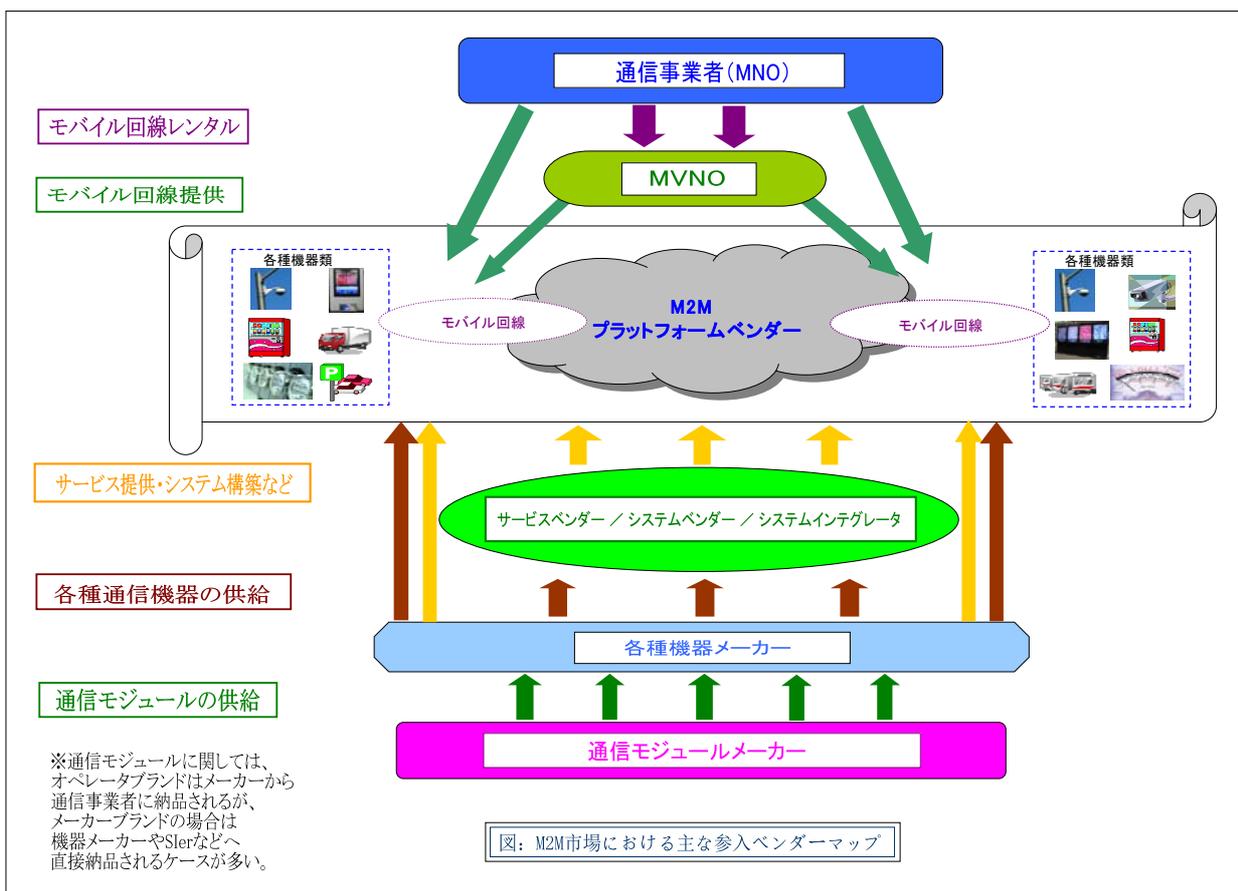
法人向け M2M 市場において、契約回線数が最も多いのが機器の遠隔監視やインフラ管理、セキュリティなどを含めた遠隔監視・遠隔制御の分野であり、2014 年はスマートメーター事業が開始されたこともあり全体の 4 割以上を占めるに至った。セキュリティ関連でも監視カメラをはじめとした様々な用途でモバイル回線の利用が増え始めており、2019 年には遠隔監視・遠隔制御全体で法人向け市場全体の半分以上を占めると予測される。車両の位置情報や動態・運行管理といった車載用途も、大手自動車メーカー各社がカーナビなどのデータ更新にモバイル回線を本格的に利用し始めたことで回線数が伸びてきた。LTE 回線の利用・普及が進むことで車載用途の割合はさらに高まり、2019 年には全体の 4 分の 1 に達する見通しである。このほか、高成長が期待されるのは高齢者の介護や見守り用途である。





通信事業者に関しては、MVNO の成長が著しいが、コンシューマ市場が主戦場だったソフトバンクが徐々に法人市場向けにシェアを伸ばしてきた。

2014年はユーザーがビジネスモデルを十分に描き切れておらず、M2M システムの導入に消極的な傾向が見られた。しかしながら、長期的な視点で見ると、オリンピック需要等もあり市場は着実に成長している。2015 年以降は、明確なビジネスモデルを構築してきたユーザーによる本格導入が期待される。



【資料紹介】

『国内モバイル M2M 市場動向調査（2014 年版）』「第 1 部市場動向編」は M2M 市場について、契約回線数ベースで通信事業者や通信モジュールメーカーをはじめとした市場参入ベンダーの動向のほか、M2M の利用カテゴリーを 8 つに分けて、各カテゴリーについての概況及び長期的な動向についてまとめております。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ 第 3 グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) TEL:03-3866-4505